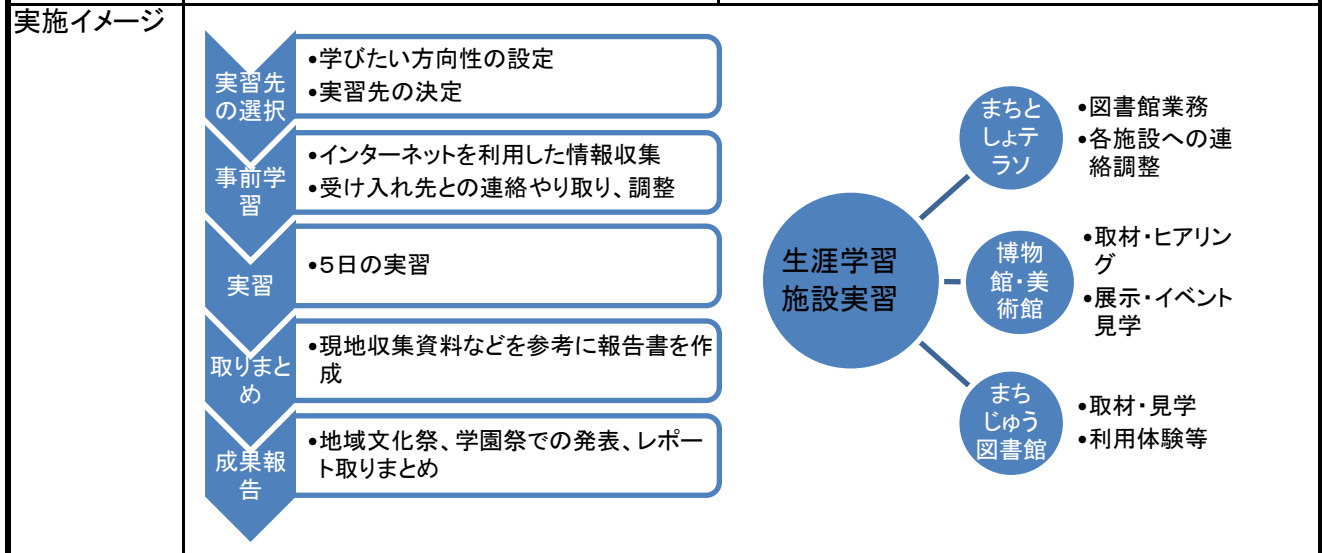


実習先	小布施町立図書館「まちとしょテラソ」とおぶせまちじゅう図書館活動(長野県小布施町)28年度
目的・テーマ	人と人をつなぐ「おぶせまちじゅう図書館」のまちづくり-本・学習施設・商店のネットワークによる地域活性化の試み-
目的・概要	<p>受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等</p> <p>「まちづくり」と「生涯学習施設」の関連をテーマに、1.公共施設としての図書館で行う地域連携、2.市民参加による学習活動・地方創生について理解を深めるための実習を行う。</p> <p>概要 長野県上高井郡小布施町に位置する町立図書館「まちとしょテラソ」(以下、テラソもしくは図書館)における実習を実施。主に館内業務を体験しつつ、同地域内の他の生涯学習施設の見学、および取材を行う。特に住民が主体となり、施設と連携し、取組まれている「おぶせまちじゅう図書館」事業に焦点を当てた調査活動を行った。 「まちじゅう図書館」とは、小布施町内にある一般の店舗(カフェや酒造など)の店先に本棚を設置し、貸し借り等自由に交流できる場とすることで、いわば小さな私立図書館を町中に設立する地域連携活動である。</p>
分野	教育・子育て・環境・まちづくり
形態・期間・人数	短期集中・5日間/人数(1)人
方法	講義・見学・観察・調査・参加・体験・ボランティア・AL・SL
プログラム	<p>(事前)</p> <p>1 過年度実習報告や生涯学習概論を踏まえた論点取りまとめとディスカッション 2 施設調査・準備活動 インターネット等による情報収集 3 指導教員及び現地活動コーディネーターとのやり取り、打ち合わせ</p> <p>(事中)</p> <p>■実施内容 1.公共施設としての図書館で行う地域連携 2.市民参加による学習活動・地方創生をテーマに実施。 まちとしょテラソでの業務実習と、「まちじゅう図書館」の参加店舗での取材を行うと共に、テラソとネットワークを組む同町内の、「高井鴻山記念館」「小布施ミュージアム 中島千波館」などに訪問しお話を伺う。</p> <p>■実施日程 5日間(原則として8:30~17:00が実習時間。昼に1時間と15分の休憩) 1日目:現地到着。実習内容の相談、館内通常業務の説明・体験。 2日目:終日、配架・カウンターなどの館内業務。 3日目:「高井鴻山記念館」「小布施ミュージアム 中島千波館」等を見学・取材。 4日目:午前中は館内業務、午後から「まちじゅう図書館」での取材。 5日目:午前中は館内業務、午後は町内見学・再取材。現地撤収。</p> <p>(事後)</p> <p>1 展示・発表 豊島区生涯学習施設「みらい館大明」の文化祭及び大正大学鴨台祭での実習中間報告とプレゼンテーション。 2 レポートの取りまとめ 実習を踏まえて、広告・宣伝の効果、人材育成と地域の文化特性(人情)の影響、施設間連携(図書館・博物館・美術館等)について、考察し、レポートに取りまとめた。まちづくりに向けた学習・実践の効果を高めるためには、既存の施設及び各種活動・イベントの連携がより一層求められるとともに、連携における課題や可能性などについての知見を提示した。</p>
方法論上の特記事項	研究室活動におけるつながりから実習先を紹介。一施設だけではなくネットワークする他施設・活動も紹介をしていただくことで、まちづくりとして広がりを持った広範な実習先を確保することが実現した。

成果	(学生)	(表、グラフ、数値など定量的成果)
	<p>自分がどうしても知りたいと考えていることが何であるか、はっきりさせないまま、実習に臨んでしまったこともあり、予定が二転三転するなど、結果として実習先の方に、ご迷惑をかけたことが悔やまれる。</p> <p>一方で、社会教育生涯学習における、広告・宣伝、地域文化の関係性、施設間連携の重要性など現場の視点から身を持って学べたことは意義が大きかった。</p>	
	<p>(受入先)</p> <p>外の視点の導入とその後大学学科ぐるみの連携活動における職員・教員間の関係作りに寄与することにもなった。</p>	
	<p>(その他、地域住民、連携先等)</p>	



実施主体関係情報	<p>小布施町立図書館まちとしょテラソ http://machitoshoterrasow.com/index.html 大正大学出川真也研究室 https://degawaken.com/</p>
----------	--